

SEED PLAN 2017

チーム名	エコ貯金プロジェクト
担当理事	田川道子
10年後の目標 (長期目標)	自然環境と人間が持続可能な形で共存・共生することが可能で、エネルギー・食料・住宅など、私たちの生活に必要なものが持続可能かつ安全な形で供給され、あらゆる人々の人権が尊重される、フェアで公正な社会づくりに貢献する金融のしくみを実現する。
今年度の目標 (2017年度・短期目標)	<p>①Fair Finance Guide Japanの運営団体（A SEED JAPAN、アジア太平洋資料センター、「環境・持続社会」研究センター）で共同しながら、Fair Finance Guide Japanのウェブサイト（http://fairfinance.jp/）の認知を高める。</p> <p>具体的には以下を指標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ウェブアクセス数（年間20,000） (2) Facebookページへの「いいね！」数（年間1,000増加、累計6,000） (3) メディア掲載数（年間5件） <p>②Fair Finance Guideにおける日本の銀行のスコアが改善されることを目指す。</p> <p>具体的には以下を指標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) スコアを改善した銀行（2銀行以上） (2) 特に石炭火力・採掘に関するスコアの改善（3項目以上） <p>③セミナーや冊子等で啓発を行い、より多くの市民が金融機関に対して意思表示を行う。</p> <p>具体的には以下を指標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 銀行へのメッセージ数（年間200）
活動計画	<p>①Fair Finance Guide Japanの運営団体（A SEED JAPAN、アジア太平洋資料センター、「環境・持続社会」研究センター）で協力し、銀行評価、ケース調査、広報（F B、スクール、プレゼン、セミナー）、メンバーのスキルアップ等を進める</p> <p>②上記以外の団体と協働し、今まで接触できていなかった層へもアプローチする。</p> <p>③A SEED JAPANにてフェア・ファイナンス・ガイドの考え方を広める教材やリーフレットの作成。2016年度に作成したのものも含め、配布する。</p>
対象	NPO,NGO層、金融機関関係者、学生、資産運用が必要な人
スケジュール	<p>4月 アースデイ東京2017</p> <p>7月～9月 セミナー</p> <p>10月グローバルフェスタ</p> <p>12月 セミナー</p>
資金調達先	地球環境基金、スウェーデン国際開発協力庁(Sida)
その他	

SEED PLAN 2017

チーム名	ひまごみらいプロジェクト
担当理事	西島香織
10年後の目標 (長期目標)	①原子力発電所の運転によって生じた放射性廃棄物の最終処分・管理方法における、公正で民主的な決め方の確立。 ②第一次産業と再生可能エネルギーを中心とした、農村と都市が共生できる社会の創造。
今年度の目標 (2017年度・短期目標)	①核ごみプロセスをフェアに！ (1) 核ごみの処分プロセスの問題点や多様な意見を洗い出し、改善案をまとめる。 (2) 処分プロセスの問題を扱ったWebサイト・冊子を作成し、主に若者へ届くように発信する。 ②結イレブン 福島県での「復興」における課題(有機農業・草の根の再エネの推進、避難自治体の復興まちづくり支援の3テーマ)を整理し、幅広い市民および復興庁に伝え、復興支援団体の取組みが継続的に支援される状態を目指す。
対象	①核ごみ：エネルギー政策・地域活性化に関心のある若者およびNGO関係者、経産省、議員。 ②結イレブン：復興や地域のために活動する個人・組織
活動計画	①核ごみ (1) スケジュールについて議論 (コアミーティング) (2) 情報収集と発信 (3) 幅広い見識を踏まえて議論を深掘 (セミオープンミーティング) (4) 普及啓発、世論喚起、議員へのロビーイング (5) シンポジウム開催 (6) 冊子を作成 ②結イレブン (1) 毎月の回覧板発信—登録者数、寄付数、宣言額 (パワーシフトふくしま) (2) 毎月11日に結イレブンを開催、動画配信を行う。 (3) 復興庁への提言を作成する。 (4) 復興イベント出展およびセミナー企画の開催・共催。
スケジュール	①核ゴミ 4月 アースデイ東京2017出展/オープンミーティング開始 (9月まで月1回ペースを想定) /普及啓発ツールの作成 5月 自治体調査 (主に文献調査) 7月～9月 自治体調査 (ヒアリングへ行く予定) 10月～12月 ロビーイング/シンポジウム 1月～3月 ロビーイング/記事まとめ

	<p>②結イレブン</p> <p>4/11(火)「このデンキがすごい」</p> <p>5/11(木)「買って応援から学んで発信へ」</p> <p>6/11(日)「ふたばの今・東京の今」</p> <p>7/11(火)「ローカルSDG s 福島編」</p> <p>8/11(金)「復興五輪を問う」</p> <p>9/11(月)「福島と平和と民主主義」</p> <p>10/11(水)「ローカルSDG s 福島編2」</p> <p>11/11(土)「広域避難支援の課題」</p> <p>12/11(月)「ひ孫の未来・故郷の今」</p> <p>1/11(火)「このデンキがすごい2018」</p> <p>2/11(日)「復興8年目へ・これまでの軌跡を振り返る」</p> <p>3/11(日)「ピースオンアース」</p> <p>※毎月11日に回覧板を発信予定。</p>
資金調達先	<p>パタゴニア環境助成金</p> <p>アクト・ビヨンド・トラスト助成金</p> <p>寄付（クラウドファンด์等）</p>
その他	

SEED PLAN 2017

チーム名	エネルギーとまちづくりプロジェクト
担当理事	浜田恒太郎
10年後の目標 (長期目標)	化石燃料由来のエネルギー等の利用について見直し、再生可能なエネルギーを誰でも選択し、利用できる持続可能な社会を目指します。そして、市民として、市区町村単位での地域コミュニティの自治に関わるきっかけが見えやすい、参加型社会を創ります。
今年度の目標 (2017年度・短期目標)	<p>① 市民として電力を選ぶとはどのような意味を持つのかを改めて吟味し、エネルギー・電力という視点から、地域における自治体へ働きかけるための戦略をつくります。</p> <p>② パワーシフトキャンペーンに参画することを通して、安さだけではなく、どうい う社会をつくっていくのか、ビジョンを持った電力会社に関する情報発信を行い、 パワーシフト宣言をする人を150名増やします。</p> <p>③ 電力会社グリーン度調査のWEBサイトへの4000アクセス数を目指します。</p>
実行手段	<p>① 日本における地域での自治という視点から、電力に関わる主体の相関図（主体連 関図）を作成し、論点・課題整理を行うための勉強会を行います。</p> <p>② パワーシフトキャンペーンと連携し、ブース出展やSNSを通して普及啓発及び情 報発信を行います。</p> <p>③ 電力会社グリーン度調査を実施し、WEBサイトにて情報発信を行います。</p>
対象	働きかける対象は、大学から一人暮らしを始めた大学生、これからをどうしようと 考え始めた社会人一二年生、仕事に慣れてきて課題活動をしたいと思い始めた若手 社会人
活動計画	<p>① 定例での勉強会の実施及び情報発信</p> <p>② 中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2017 でのブース出展</p> <p>③ 電力会社グリーン度調査及びWEBサイトの作成・公開（6月から調査のための基 礎情報を調べ、電力会社へのアンケート送付。集計した情報を、WEBに公開予 定。）</p>
スケジュール	<p>7月 勉強会</p> <p>9月 中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2017</p> <p>10月 勉強会</p> <p>12月 新電力シンポジウム</p> <p>3月 勉強会</p>
資金調達先	2017年度の地球環境基金（電力会社グリーン度調査）
その他	

A SEED JAPAN2017年度予算案

作成日：2017/06/06

科目・摘要	2016年度決算実績	2017年度予算	自己資金	うち地環基	うちFFG	うちパタゴニア	うちabt	備考
I 収入の部								
1 受取会費	747,500	840,000						
自動引き落とし	594,000	605,000	605,000					5,500円×110名程
社会人	112,500	165,000	165,000					5,500円×30名程
学生	41,000	70,000	70,000					3,500円×20名程
2 受取寄附金	1,180,680	1,480,000						
SPRING	548,500	600,000	600,000					
企業等寄附	281,354	280,000	280,000					株式会社オリエントコーポレーション
個人等寄附	292,326	500,000	500,000					
マンスリーサポーター	58,500	100,000	100,000					10名増を目指す
3 受取助成金等	6,565,980	6,430,800						
地球環境基金	4,000,000	3,600,000		3,600,000				気候変動問題の解決のための、再生可能エネルギーの急速な普及と金融機関の投融资方針の導入に向けた調査・普及啓発活動
スウェーデン国際開発協力庁 (Sida)	944,144	920,800			920,800			Fair Finance Guide Japan
パタゴニア環境助成金		1,410,000				1,410,000		放射性廃棄物処分場選定プロセス
アクト・ビヨンド・トラスト		500,000					500,000	放射性廃棄物処分場選定プロセス
LUSH	1,621,836	0						
4 事業収益	826,149	673,000						
Fair Finance Guide Japan		100,000	100,000					シンポジウム等参加費収入
エコ貯金プロジェクト		140,000	140,000					セミナー収入、中央ろうきん研修
エネルギーとまちづくり		45,000	45,000					セミナー収入
ひまごみらい		85,000	85,000					シンポジウム、結イレブ参加費収入
事務局関連事業		163,000	163,000					合宿、オリエンテーション参加費収入等
A SEED DAY		90,000	90,000					
講師謝金		50,000	50,000					
5 その他収益	330	0	0					
6 受取利息	380	500	500					
7 雑収入	30,244	20,000	20,000					
収入合計 (A)	9,351,263	9,444,300	3,013,500	3,600,000	920,800	1,410,000	500,000	
II 支出の部								
1 給与手当	3,262,000	4,410,000						
給与_西島	2,750,000	2,870,000	1,254,200		820,800	645,000	150,000	4月支払分：23万円/月、5月～3月支払分：24万円/月
給与_富田	470,000	890,000	50,000	840,000				4月支払分：4万円/月、5月～9月支払分：5万円/月、10月～3月支払分：10万円/月
給与_長島、他		530,000	355,000	120,000		55,000		4月支払分～3月：5万円/月（週2日、6時間勤務）
給与_事務局ボランティア	42,000	120,000	120,000					助成事業に係る会計・事務アルバイト
2 賞与	0	0						
3 法定福利費	441,173	512,110						
社会保険	411,104	487,110	487,110					厚生年金・健康保険
労働保険	30,069	25,000	25,000					労働保険（昨年度の給与が反映される）
4 地代家賃	825,972	825,972	825,972					68,831円/月
5 水道光熱費	61,274	65,000	65,000					
6 備品消耗品費	149,642	148,000	50,000	60,000		30,000	8,000	
7 通信費	88,642	89,800						
インターネット使用料	6,740	7,000	7,000					インターネット使用料(ドメイン料等)
電話使用料	81,902	82,800		82,800				電話使用料
8 発送費	80,315	112,500	10,000	54,000		28,000	20,500	総会資料（一部の方）・年次報告書（会員・寄付者等）・イベントチラシ
9 印刷製本費	151,244	230,000	40,000	100,000		90,000		団体パンフレット印刷代、事業に係る冊子印刷費
10 リース料	0	0						
11 旅費交通費	812,481	898,000						
定期交通費_西島	102,480	102,000	102,000					8,500円/月 1往復1,684円。4月支払分～8月は1か月6日勤務で40,416円、10月支払分～3月は1か月13日勤務で131,852円
定期交通費_富田	60,256	171,768		171,768				
監査交通費		27,000	27,000					小林邦彦さん
G7サミットに係る旅費交通費	34,180	0						
アルバイト交通費		130,000		130,000				助成事業に係る会計・事務アルバイト
その他事業旅費交通費	615,565	467,232		167,232		200,000	100,000	野外イベント交通費、現場ヒアリング交通費
12 研究研修費	69,126	185,000						
	29,126	80,000		50,000		30,000		書籍購入費等/事務局員研修参加費
	40,000	105,000	105,000					活動合宿・理事会合宿経費
13 会議費	350,833	125,000						
助成事業	243,473	100,000			100,000			ケータリング等
その他	107,360	25,000	25,000					
14 諸会費	57,350	66,000	25,000	41,000				アースデイ東京実行委、グリーン連合、パワースイフト運営委員会
15 保険料	9,000	10,000		10,000				ボランティア保険(300円×30名程)
16 支払手数料	54,280	42,000	30,000	12,000				インターネットバンキングで手数料減少

A SEED JAPAN2017年度予算案

作成日：2017/06/06

科目・摘要	2016年度決算実績	2017年度予算	自己資金	うち地環基	うちFFG	うちパタゴニア	うちabt	備考
17 謝金・業務委託費	1,436,756	1,793,500						
業務委託費_チラシ制作	223,089	290,000		210,000		80,000		製作物デザイン
業務委託費_講師謝金	551,383	723,500		420,000		100,000	203,500	セミナー・シンポジウム講演料等
業務委託費_FFG調査費	540,000	100,000		100,000				
業務委託費_会報誌・パンフデザイン	0	150,000		150,000				エコ貯金冊子
業務委託費_WEBサイトデザイン	0	185,000		185,000				グリーン電力調査Webサイト
ドットジェイピーインターン		35,000	35,000					
業務委託費_ITメンテナンス	26,250	0						
業務委託費_税理士	37,935	50,000	50,000					岡田会計事務所
業務委託費等_マンスリーサポーター	58,099	60,000	60,000					クラウドヘイメント
広報_GoogleAdgrants 分析委託		100,000	100,000					6月支払分～3月支払分
西島メンター		100,000	100,000					6月支払分～3月支払分
18 出展・設備レンタル費/会場費	958,201	767,200						
	958,201	767,200		600,200		152,000	15,000	地環基：借損、通訳料（デザイン費を抜いた金額） パタゴニア：車両代・会場費 abt：ミーティング会場費
19 事務所利用費	88,986	99,000		96,000			3,000	事務所複合機利用代
20 広告宣伝費	354,450	30,000	30,000					ASJ全体のFacebook広告のみ計上
21 交際費	0	0						
22 支払寄附金	0	0						
23 減価償却費	72,155	13,293	13,293					エコトン着ぐるみ
24 租税公課	0	0						
25 雑費	20,634	1,200,000	1,200,000					
活動サポート基金		1,000,000	1,000,000					新規活動に対する助成
その他		200,000	200,000					販売書籍原価、ゴミ処分費用、その他予定外の費用 販売書籍の商品評価損等
26 雑損失	3,000	0	0					
支出合計 (B)	9,347,514	11,622,375	6,391,575	3,600,000	920,800	1,410,000	500,000	
当期収支差額 (A) - (B)	3,749	-2,178,075	-2,178,075	0	0	0	0	
設立時正味財産額	20,796,273	20,796,273						
次期繰越一般正味財産額	21,714,636	19,536,561						
次期繰越指定財産額	0	0						
次期繰越正味財産額	21,714,636	19,536,561						

2017 年度役員一覧

理事

氏名	所属	担当
田川道子	会社員	エコ貯金プロジェクト/Fair Finance Guide Japan
西島香織	A SEED JAPAN	共同代表/事務局長 ひまごみらいプロジェクト
浜田恒太郎	会社員	共同代表 エネルギーとまちづくりプロジェクト
三本裕子	団体職員	組織基盤
宮腰義仁	団体職員	人事・コミュニティ形成

監事

小林邦彦	研究所 研究員
------	---------

2017年6月18日(日)
総合地球環境学研究所 研究員
小林邦彦

監事の再任にあたってのご挨拶

本日は、研究所の用務のため、総会に出席することができず、大変申し訳ございません。はじめに、お詫び申し上げます。

昨年度に引き続き、ASEED JAPAN の監事に就任するにあたり、簡単に今年度の抱負を述べさせていただきます。予算に関して、昨年度は赤になる可能性もありましたが、結果的には若干の黒になりました。しかし、今年度の予算案は内部留保も使っていくというこれまでにない、枠組みになっています。是非、会員の皆様も活発に意見を出して頂ければと思います。

一方で、依然として活動会員数が減少傾向にあるものの、核ごみをはじめ、各種団体から様々な期待が寄せられています。資金調達や活動協力者等の面からそういった状況であることがわかるかと思えます。社会的な変革を出してこそその NGO ですので、前向きに活動を展開していくことを期待して、私からの挨拶とさせていただきます。

以上